

## アクティブラーニング教室における 感染対策の注意喚起

### ー 二酸化炭素濃度測定による換気レベル把握と対応について ー

1. アクティブラーニング教室では二酸化炭素濃度を測定し、統合教育機構が測定値を監視しています。
2. 二酸化炭素濃度測定の目的はクラスター予防のための換気目標レベル達成／維持であり、二酸化炭素濃度は換気レベル把握のための代替指標です。
3. 室内空気循環について  
教室使用の際は、室内に備え付けのサーキュレーターを使用（首振り送風）してください。
4. 二酸化炭素濃度測定器について  
二酸化炭素濃度が換気基準の1000ppmを超過すると、二酸化炭素濃度測定器のアラームが鳴動します。  
二酸化炭素濃度測定器のアラームは、原則としてミュートにしないでください。  
試験などによる使用のためミュート設定にした場合は、終了時に必ずミュートを解除してください。
5. 換気について  
同室の換気装置は常時作動しており、起動のためのON/OFFスイッチはありません。  
また、構造上、窓を開けることはできません。  
二酸化炭素濃度測定器のアラームが鳴動した場合もしくはミュート中であっても数値表示が1000ppmを超過した場合、扉（図書館3Fラウンジ上渡り廊下側）を開けることで換気を行うことができます。  
ただし、少しでも図書館に音漏れの可能性（マイク使用など）がある場合は扉の開放は行わず、状況に応じて休み時間などに扉を開放し換気を行ってください。